

総合工学委員会・機械工学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：フロンティア人工物分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>海洋・深海と空・宇宙は、エネルギー、資源、空間移動・利用、地球環境問題が関わる地球上の人間社会に有益な場であり、これらフロンティアではシステムにより人間活動が展開され、このシステムがフロンティア人工物である。</p> <p>フロンティア人工物は、学際的な巨大複雑系であり、その開発には、材料から部品、システムに至る多様な新技術開発が必要となり、長期的視点及び俯瞰的視野からの国家的な投資や国際連携も重要である。さらに分野横断の国家安全保障、産業論、人材育成も深く関わり、これらを踏まえ、フロンティア人工物の学術的体系化、社会実装を審議し、社会的理解を促進する場が必要である。</p> <p>よって、本分科会を設置し、今期は特に国際連携と人材育成の面から審議を進め社会に発信する。</p>
4	審議事項	<p>1. 海洋・深海と空・宇宙の学際的な研究と社会実装</p> <p>2. フロンティア人工物に関する国際連携及び人材育成に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年1月25日～令和8年9月30日
6	備考	<p>第25期は、公開シンポジウム「有人潜水調査船の未来を語る」(第二部及び第三部の分野別委員会の分科会と主催)及び「海空宇宙のCOVID-19対応と今後のパンデミック対応に向けて」(「学術の動向」27巻3号小特集も実施)の2件、サイエンスカフェ4件を行った。特質すべき点としては、サイエンスカフェは一般社会人のほかに高校生の参加が多く、これらの実績を踏まえ、今期はさらに展開する。</p> <p>船舶海洋航空宇宙等それぞれ学協会があるが、これらが連携できる学際的な組織であり、第一部、第二部の連携会員が参加した分野横断的分科会で、今期もその強みを継続</p>

		する。 第 25 期の総合工学委員会の総括を踏まえ、持続可能な社会の構築にも寄与する。
--	--	--